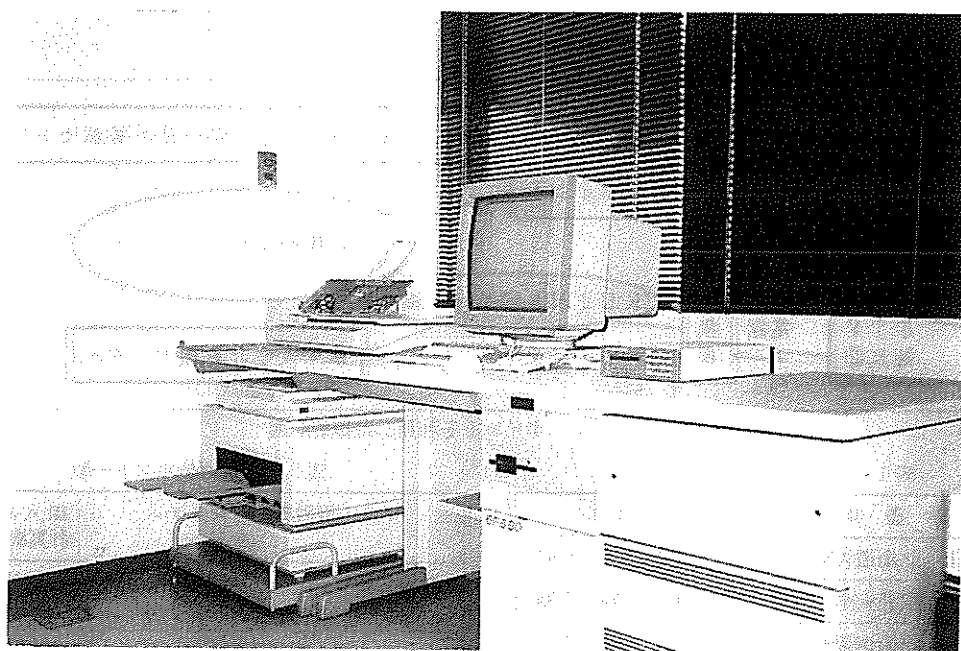


KUINS ニュース No. 10

京都大学学術情報ネットワーク機構



光ディスク電子ファイリングシステム (附属図書館)

目 次

KUINS から学術情報ネットワーク経由の他大学大型計算機への接続について	94
画像操作ライブラリ KUMI の説明会の開催について	97
オンライン目録検索サービスの現況について	98
KUINS 会議日誌	98

KUINS から学術情報ネットワーク経由の 他大学大型計算機への接続について

平成2年11月1日から、学術情報ネットワークがNTTのDDX-TP相当のサービスを開始しました(図1参照)。このサービスを利用すると、一般無手順端末(TTY 端末)を最寄りのアクセスポイント(表1参照)までの電話料金だけで遠方のホスト計算機に接続ができ、電話料金を節約できます。また、大型計算機センター等を経由し

ないで目的のホスト計算機に接続ができます。

利用方法は、最寄りのアクセスポイントに電話回線で接続し、利用するホスト計算機の加入者番号(表2参照)を入力します。モデムの通信規格を表3に、端末の設定パラメータを表4に示します。

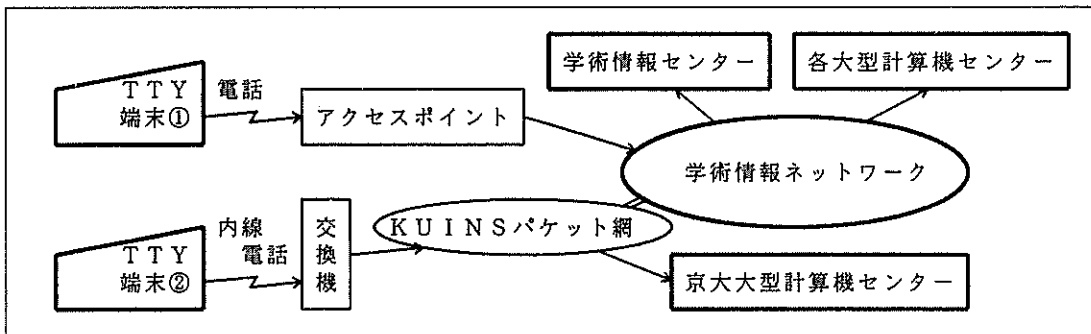


図1 アクセスポイントを利用した接続形態

表1 アクセスポイント一覧

設置場所	電話番号
札幌市 北海道大学	011 - 746 - 0608
仙台市 東北大学	022 - 268 - 7706
東京都 学術情報センター	03 - 5395 - 1285
名古屋市 名古屋大学	052 - 781 - 5995
大阪市 大阪大学	06 - 878 - 9864
東広島市 広島大学	0824 - 22 - 9353
福岡市 九州大学	092 - 632 - 5057

表3 モデムの通信規格

通信速度	規格	エラーフリープロトコル
300 bps	CCITT V. 21	①なし
1200 bps	CCITT V. 22	②MNPクラス5
2400 bps	CCITT V. 22bis	③CCITT V. 42の
4800 bps 9600 bps	CCITT V. 32	選択が可能

表2 利用可能ホスト一覧

ホスト設置機関・システム	加入者番号 計算機アドレス
学術情報センター・情報検索 ・電子メール	9415300 9415200
北海道大学大型計算機センター	9115200
東北大学大型計算機センター	9136200
東京大学大型計算機センター	9311600
名古屋大学大型計算機センター	9515000
京都大学大型計算機センター・MSP ・UTS	7010004 7010003
大阪大学大型計算機センター	9626500
九州大学大型計算機センター	9816100

表4 端末設定パラメータ

データビット長	7
ストップビット長	1
パリティ	偶数

ホスト計算機のセッション切断コマンドを入力することにより、自動的にアクセスポイントとの接続と電話回線が開放されます。

このように、各大型計算機センターで学術情報ネットワークに対する TTY 端末用回線が準備されたことに伴い、京都大学の本部地区、宇治地区、熊取地区から、TTY 端末（図1の②）を内線電話とモデムやデータ通信のできるデジタル電話機、データアクセス装置（DAU等）で学内パケット交換網・学術情報ネットワークを経由して

表2のホストに接続できます。京都大学各地区の学内パケット網の受け口（PAD 装置と言う。KUINS ニュースNo.3, No.6 参照）の電話番号は表5のとおりで、宇治地区から北海道大学大型計算機センターの TSS を利用する例を図2に示します。

このような利用をすると、学内からは電話料が不要で、途中に計算機を経由しないため計算機利用負担金も不要となります。

表5 京都大学学内パケット網への電話番号一覧

速度・規格等	吉田地区	宇治地区	熊取地区	備 考
300bps CCITT V. 21	9 9 9	3 8 5 0	———	アナログ回線
1200bps CCITT V. 22	———	———	2 9 1 2	
1200/2400bps CCITT V. 22bis	9 9 8	3 8 6 0	2 9 2 4	
4800bps DAU等	9 9 1	———	———	デジタル回線
9600bps DAU等	9 9 2	6 9 0 0	———	
9600bps HDLC手順 DAU等	———	6 9 5 0	———	接続手順はHDLC（注）

（注）接続操作はダイヤルのみで、京都大学大型計算機センターに接続される。

コ-ル6900PADヘダイヤル
KUINSアクセスポイント接続のメッセージ
9115200北大センターの加入者番号入力 (計算機アドレス)
9115200改行される
COM北大計算機センターにつながった
ENTER TERMINAL ID端末番号の問い合わせ
(ENTERキー)端末番号の入力
ENTER LOGON	
LOGON	<以下通常の北大TSS利用>
READY	
LOGOFFTSS終了コマンド入力
JET110611 USER COMMAND PROFILE BEING STORED	
* CPU TIME= 1.07	*ELAPSED TIME
<DATASET> *SPACE 23055	*NUMBER
<ACCOUNT> (RYOKIN) (YOSAN) (RUISEKI)	
A 10 10000 2420	
CLR DTE 1PAD, 回線開放のメッセージ

図2 宇治地区からDAUを使って端末を北海道大学大型計算機センターに接続する例

また、犬山地区、阿武山地区からも TTY 端末を両地区に設置されている PAD 装置に接続し、学術情報ネットワーク経由で表 2 のホストに接続

できます。犬山地区、阿武山地区から九州大学大型計算機センター MSP に接続する例を図 3 に示します。

```

P A D 装置に接続された T T Y 端末を起動
SmartNet..... P A D 装置からのメッセージ
date:1991-01-30 ..... P A D 装置からのメッセージ
KUINS > 9816100 .....九州大学大型計算機センターMSPの加入者番号入力
SmartNet:FAC:... P A D 装置からのメッセージ
.....改行される
COM .....接続先計算機の接続メッセージ
(breakキー) .....ブレーク信号入力
.....改行される

<ピッ> .....端末のベルが鳴る
(改行のみ入力).....MSPのTSSコマンド入力
JCETO20 SYSTEM READY.....MSPからのメッセージ
LOGON TSS userid.....TSS開設コマンド入力
PASSWORD ? .....パスワードの問い合わせ
パスワード .....パスワードの入力
<通常のTSS利用>
# LOGOFF .....MSPのTSS終了コマンド入力

+ DATA PROCESSING CENTER
:
KEQ54220I SESSION ENDED
CLR PAD

```

図3 犬山地区、阿武山地区から九州大学大型計算機センターMSPに接続する例

画像操作ライブラリ KUMI の説明会の開催について

画像操作ライブラリ (Kyoto University Multi Image Handling System-KUMI) は、工学部特定領域調査研究の補助を受けて、画像処理プログラムのポータビリティを高め、研究者間での画像データ及びプログラムの共有化・相互利用を進める目的で作成したものです。

想定している利用者は、画像処理の研究者やユーザで画像処理のプログラムを自分自身で書こうとする人々で、想定しているシステムは、UNIX ワークステーション、使用する言語は C です。

画像のデータやプログラムを、ネットワークを介して、ホスト計算機や種々の入出力機器との間で転送する環境が KUINS の稼動により整ってきました。入出力装置は、工学部附属高度情報開発実験施設や大型計算機センターにすでに設置されていますので、KUINS を介して、画像データを転送することにより、研究室のワークステーショ

ンなどを用いて、簡単に画像処理が実現できるようになっています。

このような状況を考慮して、今回、KUMI のソースプログラムとマニュアルを大学内の希望者に、提供することにしました。計算機の専門家でない方々には、多少わかりにくい点があるかと存じますので、配布に先だて、下記のように説明会を開催することにしました。

御興味のある方々の積極的な御参加をお願いします。

記

日 時： 平成3年5月9日 (木)

15:00~17:00

場 所： 工学部情報工学教室第1講義室

連絡先： 工学部附属高度情報開発実験施設
美濃導彦

(minoh@kuis.kyoto-u.ac.jp, 電話 753-5867)

オンライン目録検索サービスの現況について

附属図書館が KUINS を利用した TSS オンライン目録検索サービスをはじめ（運用開始日は 90 年 10 月 1 日）、5 カ月が過ぎました。ここで、現在までの利用状況及び利用上の注意点などについてまとめてみます。

利用登録者数は、2 月末日現在、ちょうど 160 名です。その部局別内訳は、多い順に、工学部 55 名、理学部 41 名、農学部 13 名、教養部 9 名、文学部 6 名、法学部、薬学部、原エネ研が各 4 名、食糧研、東南ア研、基礎研、医療短大が各 3 名、人文研 2 名、医学部、教育学部、経済学部、経済研、化研、大型計算機セ、体育指導セ、放射性同位セ、演習林が各 1 名となっています。1 日あたりの平均利用者数（1 人の利用者が同じ日に 2 回以上アクセスしても 1 人と数える）は、約 4 名です。

利用上の注意点としては、外字（非漢字の文字記号）の問題があります。PC 98 系の端末（利用者の圧倒的多数が使用）等、TTY 手順の端末では通常、附属図書館のホストコンピュータから JIS 以外の文字（つまり外字）が送信されないのので、外字は一切表示されず、“:” に置換され表示されます。ドイツ語のウムラウトのようなピュラーなものも外字扱いとなり表示されないの

で注意が必要です。

附属図書館ホストコンピュータとの接続用の通信ソフトは、PC 98 系の端末には、大型計算機センター提供の“戸田版エミュレータ”（附属図書館コンピュータ室にて提供可）が最適で、その他ソフトの場合、漢字送信がうまくいかない場合があります。“戸田版エミュレータ”については附属図書館においても配布しております。また、このほかにマッキントッシュ用の通信ソフトも用意し、希望者に配布しています。

なお、この 4 月よりアナログ回線（ダイヤルインダイヤル機能付き、1200 / 2400 BPS、V 22 bis、753 - 2689）を新設します。端末側でアナログモデムを設置することにより、学外からも接続することができます。

本サービスに関する問合せ先は下記のとおりです。

サービス内容、事務について	
参考調査掛	753 - 2636
システム、通信について	
システム管理掛	753 - 2646
	附属図書館

|||||

KUINS 会議日誌

平成 2 年 10 月 1 日～平成 3 年 3 月 15 日

学術情報ネットワーク機構運営会議（第 2 回）

3. 3. 12

- 平成 4 年度歳出概算要求について
- 学術情報ネットワーク機構の活動状況について

KUINS ネットグループ連絡会（第 6 回）

3. 1. 10

- 吉田・宇治地区間の専用回線高速化

について

KUINS ネットグループ連絡会（第 7 回）

3. 2. 13

- 基幹ループ LAN 及びリセール回線接続状況について

KUINS ネットグループ連絡会（第 8 回）

3. 3. 8

- KUINS LAN のネットワークアドレス及び基幹ループ LAN 接続状況について